

第2学年国語科（現代の国語）学習指導案

指導者 県立\*\*高等学校 教諭 戸塚 匠

1 単元名 語感を磨き語彙を豊かにし、自分の考えが的確に伝わるよう表現の仕方を工夫する。  
（「新編 現代の国語 大修館書店」）

2 本単元の目標

(1) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1)エ

(2) 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。

[思考力、判断力、表現力等] B (1)ウ

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元における言語活動

調べたことを整理して、キャッチコピーを創作する活動。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 B (2)ウ）

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)エ)	① 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 (B (1)ウ)	① 学習の見通しをもち、キャッチコピーを創作することを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、自分の考えが的確に伝わるよう表現を工夫し、自らの学習を調整しようとしている。

5 単元について

(1) 教材観

優れたキャッチコピーを創作するためには、発想の豊かさや言葉の選び方、表現技法などさまざまな要素が複合的に求められる。一方、その要素を網羅して客観的な評価をすることに課題が見られる。そこで、本単元では、語感を働かせて表現を工夫することに着目して、評価の観点を焦点化することとした。また、生徒間で互いの作品を批評し合うことで、他者の語感に触れ、言葉に対する見方・考え方を働かせるという工夫をした。本単元は、キャッチコピーという限られた文字数の中で、文体や語句の表現の仕方を工夫し、語感を磨き、語彙を増やすのに適した教材であると考えられる。

(2) 生徒観

昨年度、「言語文化」の授業内で俳句の創作を行ったところ、意欲的に授業に参加している一方で語彙が不足しており創作や鑑賞が十分に行えておらず、語彙を増やすことへの意欲を喚起する必要がある生徒も一定数いることが、明らかになった。これまで、言葉の一つ一つにこだわり、語感を磨き語彙を豊かにする学習場面の設定が不足していたことや、表現の仕方を工夫する手立てが十分ではなかったことが原因であると考えられる。

(3) 指導観

単元の導入時、生徒が見通しをもって主体的に取り組むことができるよう、最終目標として、月

刊「\*\*\*\*」が主催する「\*\*\*\*」に応募する作品を提出することを示す。また、キャッチコピーの創作には様々な要素が複合的に求められるため、本単元では、特に語感を働かせることに焦点を置いた。生徒は、まずは身近なキャッチコピーから、どのような工夫がなされているかを検討し、語感を働かせる経験をする。その後、一つ一つの言葉にこだわり、言葉による見方・考え方を働かせてキャッチコピーを創作し他者との交流や推敲を通して、語感を磨き語彙を増やし、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう表現を工夫する資質・能力を育成することができると考える。

6 単元の指導計画（4時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法等
1	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 魅力的なキャッチコピーには、どのような工夫があるのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の目標を設定し、学習の見通しをもつ。</li> <li>・既存の優れたキャッチコピーを読み、その魅力を考える。</li> <li>・タブレットを活用し、身の回りにあるキャッチコピーの中から、自分自身が惹かれるものを探すとともに、なぜ惹かれるのかについても考えをまとめる。</li> <li>・グループに分かれ、考えを共有する。</li> <li>・応募へ向けて、キャッチコピー創作時のポイントを考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 魅力的なキャッチコピーには、着眼点の面白さ、言葉の選択、表現技法などに工夫が見られる。</p> </div>				<p>○ 態①：単元の目標を設定し、学習の見通しをもっているかを確認する。見通しがもてない生徒に対しては、次時へ向けて個別に声かけを行う。 【ワークシート】</p> <p>○ 知①：数多くあるキャッチコピーの中から、惹かれるものとその理由について考察しているかを見取る。十分に取り組めない生徒には、キャッチコピーを例示して、グループの話合いを参考にさせる。 【ワークシート・観察】</p>
2	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 語感を働かせて、表現を工夫してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を踏まえ、優れたキャッチコピーに必要な工夫や技法について意見を共有し、班でまとめる。</li> <li>・語感という言葉の意味を理解し、類義語や同意語を確認しながら語感を働かせて、表現を吟味する。</li> </ul>				<p>○ 知①：語感という言葉について理解した上で、ワークシートで類義語や同意語の分析を行い、語彙を増やしているかを確認する。不十分な生徒には、具体例を示し個別に対応する。 【ワークシート・観察】</p>

		<p>まとめ 類義語や同意語でも、微妙に意味が異なるので、似たような文章でも言葉にこだわって表現を工夫すると、全体のイメージが変化する。</p>			
3		<p>学習課題 自分の考えや事柄が的確に伝わるキャッチコピーを創作するためには、何に気を付けたらよいだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身で課題を決定する。</li> <li>・自身が選んだ課題に取り組み、表現を工夫しながらキャッチコピーを創作する。</li> <li>・グループ内で作品を共有し、批評し合う。</li> </ul> <p>まとめ 考えや事柄が的確に伝わるようにするためには、語感を働かせて自分の言葉の感覚を大切に、類義語や同意語から適当なものはどれかを考える必要がある。</p>	○	<p>思①：前時までに学習した内容を生かし、語感を働かせ自分の考えが適切に伝わるようキャッチコピーを創作しているか見取り、難しい生徒には、交流時に出たアドバイスを活用したり、言葉を入れ替えた時の作品全体のイメージについて考えたりするように助言する。 【ワークシート】</p> <p>知①：語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、キャッチコピーを創作することを通し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【ワークシート】</p>	
3	4 本時	<p>1 本時の学習課題を確認し、見直しをもつ。</p> <p>学習課題 よりよい作品を創作するためには、何が必要だろう。</p> <p>2 これまでの学習を踏まえ、語感を働かせながら作品を推敲し、「****」に応募する作品を完成させ、提出する。</p> <p>3 推敲した結果と、表現を工夫したねらいをワークシートに記入する。</p> <p>4 語感を働かせることや語彙を豊かにすることの効果や意味について考えたこと、をスプレッドシートに記入する。</p>	◎	<p>思①：自身が選んだ課題や表現したい内容に応じて、語感を働かせ同意語・類義語からより適切な語を選択し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう推敲している。 【ワークシート】</p>	

<p>まとめ よりよいキャチコピーを創作するためには、語感を働かせて文章全体のイメージを捉え、推敲を重ねて表現を工夫することが必要である。</p>	<p>5 単元全体の学習を振り返る。</p>	<p>振り返り 語感を働かせて試行錯誤しながら、表現を工夫することができた。本単元で学んだことを、今後に生かしたい。</p>	<p>◎ 態①：学習の見通しをもち、キャッチコピーを作することを通して、語感を磨き、語彙を豊かにし、自分の考えが的確に伝わるよう表現を工夫し、自らの学習を調整しようとしている。 【ワークシート】</p>
---	------------------------	--	---